

山鹿市民医療センター開放型病院広報紙

3月号

Yamaga Medical Center



発行所 山鹿市民医療センター 〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地 TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代) FAX 0968-44-0071(連携室直通)

(今月号より連携室直通のFAX番号を掲載しております)

第25回 公開薬剤師研修会

令和6年12月6日、第25回公開薬剤師研修会が開催されました。当日は、青森県八戸市のワカバ薬局薬剤師の阿達昌亮先生を講師にお招きし、司会進行を当センター松田副薬剤科長、座長を大森眞樹薬剤師(きらきら薬局所属)が務められました。阿達先生の東北でのご活躍について拝聴しようとする地域の開局薬局の若手薬剤師を中心に多くの先生方が来場され、会場は熱気にあふれていました。

今回は「地域薬局の災害時BCPと地域連携」という演題で講演されました。「BCP」とは「事業継続計画(Business Continuity Planning)」です。先生は「必要なときに必要なものを提供できる薬局」であることを地域薬局BCPの柱に、医薬品だけでなく衛生材料の供給も含めて保険薬局は地域の福祉に貢献する必要があること、地域薬局が被災しないような努力を普段から行っておくことが大切だと熱弁をふるわれました。その一例として、新規開設する店舗は必ず道路面から60cm以上の高さを持って開設している(60cmあれば八戸地域での水害はまず免れる)とのことで、被災しても営業が出来ていることを紹介いただきました。



先生は「必要なときに必要なものを提供できる薬局」であることを地域薬局BCPの柱に、医薬品だけでなく衛生材料の供給も含めて保険薬局は地域の福祉に貢献する必要があること、地域薬局が被災しないような努力を普段から行っておくことが大切だと熱弁をふるわれました。その一例として、新規開設する店舗は必ず道路面から60cm以上の高さを持って開設している(60cmあれば八戸地域での水害はまず免れる)とのことで、被災しても営業が出来ていることを紹介いただきました。

先生は「必要なときに必要なものを提供できる薬局」であることを地域薬局BCPの柱に、医薬品だけでなく衛生材料の供給も含めて保険薬局は地域の福祉に貢献する必要があること、地域薬局が被災しないような努力を普段から行っておくことが大切だと熱弁をふるわれました。その一例として、新規開設する店舗は必ず道路面から60cm以上の高さを持って開設している(60cmあれば八戸地域での水害はまず免れる)とのことで、被災しても営業が出来ていることを紹介いただきました。

また、先生は八戸薬剤師会会長も併任されており、ようやく青森県と薬剤師会とで正式に災害協定を締結出来たとのこと。今後は、防災訓練にも薬剤師会が組み入れられ、より実践に即した内容での訓練が可能となることで、訓練を行う行政側も、訓練で実際動いてみる薬剤師側も、見えていなかった点を見いだせると、ホットな情報も紹介されました。

講演後の質疑応答の中では、熊本は既に協定締結していること、山鹿地区薬剤師会でも当センター薬剤師を含め災害医療についての研修会を定例で開催していることが紹介され、話は尽きない中、会は盛会裡に終了しました。

いつ、どのような形で襲ってくるかわからない災害。当センターは災害拠点病院です。今回阿達先生のお話を拝聴し、早急に薬剤科版BCPを作らなければならないと感じました。

(文責：副薬剤科長 柴田 佳代)



CONTENTS

第25回公開薬剤師研修会 ..... P 1
DMAT隊員養成研修を受けて ..... P 2
部門紹介：地域健診室 ..... P 2
医療最前線(164) ..... P 3
日本医療マネジメント学会開催のご案内... P 3
外来担当医表(3月) ..... P 4

基本理念

いのち

地域住民の生命と健康への貢献

基本方針

山鹿市民医療センターは

- ① 患者さま中心の信頼される医療を行います
② 診療機能の充実に努め、質の高い医療を提供します
③ 地域の保健、医療、福祉の連携を推進します
④ 研修、研鑽に努め医療レベルの向上を図ります
⑤ 健全経営に努めます

## DMAT隊員養成研修を受けて



DMATとは医師、看護師、業務調整員（医師・看護師以外の医療職及び事務職員）で構成され、大規模災害や多傷病者が発生した事故などの現場に、急性期（おおむね48時間以内）から活動でき、機動性を持った専門的な訓練を受けた医療チームを指します。

災害拠点病院に指定されている当センターでDMATの一員として役割を果たすべく、僭越ではございますが私がDMAT隊員養成研修を受講する運びとなりました。

研修は令和6年9月11日～9月14日の4日間、兵庫県災害医療センターおよび兵庫県広域防災センターで実施されました。研修前にeラーニングで事前学習を受け、実際の研修は座学・グループワーク・筆記試験・実地訓練がありました。災害医療特有の医療知識・技術、アセスメント・プランを学習し、災害発生地や事故現場に派遣された際のDMAT隊員としての活動だけでなく、災害拠点病院における役割（被害状況の把握、指揮系統の確立、情報共有方法の確保等）も学習することができました。

自然災害は地球規模での気候変動の影響もあってか、近年熊本でおきた災害に限らず、能登半島地震や日向灘沖の地震、河川の氾濫や豪雨による水害等が毎年のように起きています。また、今年1月中旬には日本政府の地震調査委員会が南海トラフ巨大地震の30年以内の発生確率を従来の「70～80%」から「80%程度」に修正しました。熊本県北地域、鹿本医療圏が甚大な災害に見舞われる可能性もゼロではありません。いつ起きるかわからない、いつ起きてもおかしくない有事・非常事態に日頃から備えておくことが非常に重要です。

DMAT隊員養成研修を終了し、厚生労働省管轄のDMAT隊員となりました。災害医療に尽力すべく、邁進していく所存です。今後とも何卒宜しくお願い申し上げます。

（文責：整形外科医長 横田 秀峰）



## 部門紹介：地域健診室

地域健診室では、診療部門に併設して健診業務を行っております。スタッフは、室長の高木医師と保健師2名、看護師1名、事務職員3名の他に、各検査の関連部署（臨床検査科、放射線科、外来・内視鏡室、産婦人科、眼科）が健診業務に携わっています。

当センターの人間ドックは、山鹿市・和水町国保をはじめ、熊本県市町村職員共済組合や個人からも受け付けています。1日コースと日帰り2日コースのい

れも当日の午前中には終了する“お待たせしない”ことが特徴で、受検者はリピーターの方が多く、車椅子や杖歩行の場合でも安心して人間ドックを受けられるよう、丁寧な対応を心掛けています。

健康診断は、全国健康保険協会（協会けんぽ）生活習慣病予防健診を中心に、法定健診、山鹿市をはじめとする国保特定健診・後期高齢者健診、被扶養者特定健診、熊本県原子爆弾被爆者・被爆者二世健診の委託も受けており、当センターの職員健診や山鹿市職員及び広域消防職員健診も実施しており、地域で働く就業者の方々の健康支援に努めています。

検査結果を基に人間ドック健診情報管理士の資格を有する保健師が保健指導をしており、肝疾患コーディネーターの認定を取得した保健師による検査の受検及び受診勧奨、肝炎への理解の浸透、脂肪肝による疾病予防をアドバイスしています。

健診・検診の機会を“自分自身の健康について考える良いきっかけ”と思っていただけるように、今後も疾患の発症や重症化を予防する視点から、地域の皆さまの健康づくりに貢献していきたいと思っています。

（文責：地域健診室 保健師 吉田 真紀）



## 医療最前線 (164)



## 骨折に対する創外固定

整形外科医  
井手 淳之介

創外固定はピンや支柱を使って皮膚の外から骨を把持して骨の位置をコントロールし固定する手技で、外傷整形外科治療の中でさまざまな場面で使用されています。創外固定にはいくつかの種類がありますが、現在使用頻度が高いものとしては、損傷領域の外にハーフピンを挿入し、ロッドで連結してフレームを構築し固定するものです。創外固定は骨や軟部組織への侵襲が小さく、迅速に骨折を安定化できるため、特に外傷初期治療において重要な位置を占めています。

創外固定の主な適応としては以下のようなものが挙げられます。

- 1) 多発外傷における全身状態のダメージコントロールとしての創外固定
  - 2) 開放骨折における軟部組織や骨折のコントロールとしての創外固定
  - 3) 重度の関節内骨折における軟部組織や骨折のコントロールとしての創外固定
- 1) については、全身状態が不安定な多発外傷患者において骨折部を迅速に固定し止血と全身状態コントロールを行い、救命のみならず機能温存を目標とした治療の一環として行われます。

2) については、軟部組織損傷が高度な場合や感染のリスクが高い場合に、骨折部を固定することで局所のダメージコントロールや感染予防を図ります。

3) については、非開放性骨折であっても、重度で不安定な関節内骨折の場合シーネ固定では整復位が保持出来ないことがあります。骨折部が安定しないと出血、腫脹、浮腫の増悪により軟部組織の状態が悪化します。創外固定を行い軟部組織の状態を改善させることで、内固定までの長期の待機期間を不要とし、内固定後の軟部組織に関する合併症を減らすことが期待されます。特に膝関節や足関節周囲は軟部組織が脆弱であり、容易に水疱形成などの軟部組織の破綻を来すため、不安定な関節内骨折は創外固定が考慮されます。

当科でも非開放性の関節内脱臼骨折に対して、シーネ固定で整復位の保持が困難であったため受傷同日創外固定を行いました。創外固定後軟部組織の状態は速やかに改善し、その後スムーズに内固定することができ、合併症もなく治療を終えることができました。またシーネ固定の場合、病棟でのシーネの包帯巻き直しの際にどうしても痛みがありますが、創外固定を行った場合骨折部が安定し、包帯交換や創部処置の際の疼痛も軽減されるというメリットも感じています。軟部組織の状態の悪い骨折は合併症のリスクが高まりますが、適応のある症例には創外固定を考慮して合併症を減らすことができるよう努めてまいります。

## 当センター開催 学術集会のご案内

## 日本医療マネジメント学会 第27回 熊本支部学術集会

～地域の未来に向けた病院づくり、  
Yes, we can!～

日時 2025年3月15日 (土)  
9時20分開始 (8時30分 受付開始)  
会場 山鹿市民交流センター



日本医療マネジメント学会  
第27回 熊本支部学術集会

地域の未来に向けた病院づくり、Yes, we can!

会期 2025 3/15 日  
開催地 別府 透 山鹿市民交流センター  
会場 山鹿市民交流センター

山鹿市民交流センター 事務総務課  
〒962-0202 山鹿市山鹿町山鹿1-1-1 TEL:0968-44-1185 FAX:0968-44-2420

株式会社コンメンタムサポート九州  
〒862-0972 熊本県中津市豊後1-1-15 TEL:0967-77-777 FAX:0967-77-1185 E-mail: jpm@tumamsp.co.jp

【共催】山鹿市  
【後援】熊本県協会  
【大会中】  
https://jpm27kumamoto.com

# 外来担当医表

3月

診療科名	月	火	水	木	金
呼吸器内科	※後藤 由比古	※赤池 公孝	※後藤 英介	—	※後藤 英介
腫瘍内科	—	—	—	—	※宮本 英明
消化器内科	中垣 貴志	竹野 洋司	本原 利彦	竹野 洋司 中垣 貴志	本原 利彦
内分泌・代謝内科	川崎 修二	—	川崎 修二	—	川崎 修二
循環器内科	大庭 圭介 清水 博	大庭 圭介 清水 博	清水 博 中山 智子	中山 智子 清水 博	大庭 圭介 清水 博
整形外科 (紹介外来制)	横田 秀峰 中原 達秀 井手 淳之介	工藤 智志 中原 達秀 湯本みずほ/井手淳之介	手術 (担当医)	工藤 智志 横田 秀峰 湯本みずほ	手術 (担当医)
外科	別府 透 石河 隆敏	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 増田稔郎/辛島龍一	手術 (担当医)	別府 透 石河 隆敏 増田 稔郎
乳腺外科	—	※富口 麻衣	—	—	—
泌尿器科	—	※原田 成美	—	※神波 大己 教授	—
小児科	小澄 将士	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士 (午後：予防接種)	小澄 将士(午前) ※石井 真美(午後)	小澄 将士
*小児科の午後は、16:00受付終了となります					
耳鼻咽喉科	—	非常勤医師	—	非常勤医師	—
眼科(予約制)	—	非常勤医師	非常勤医師	—	—
産婦人科	非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	※片渕美和子(午後) (受付13:00~16:30) 婦人科・思春期・更年期	—	非常勤医師(午前) ★非常勤医師(午後) (受付14:00~16:00)	非常勤医師 (午前)
緩和ケア内科(予約制)	—	堀 和樹	—	堀 和樹	—
総合診療科	吉岡 明子	—	吉岡 明子	—	吉岡 明子
救急外来	外科医(午前) 吉岡 明子(午後)	吉岡 明子	大庭 圭介(午前) 清水 博(午後)	奇数週：担当医 偶数週：吉岡明子	外科医(午前) 消化器内科医(午後)
健診	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂	高木 茂

◎診療受付時間は、8:30(予約再診の方は8:00)~11:00  
◎当日の受診に関する相談を除く電話は、14時から17時が受付となります。  
※ 非常勤医師です。 ★ 第2、第4のみ診療となります。

## 特殊・専門外来【予約制】

3月

名称	担当医等	実施日	診察場所
外来化学療法	担当医	毎週 火曜・水曜	各診療科
	※宮本 英明	毎週 金曜 (がん薬物療法専門医)	
禁煙外来	坂田 和子	毎週 月曜 (午後)	Aブロック
睡眠時無呼吸外来	坂田 和子	毎週 火曜・木曜 (午後)	
小児科予防接種	小澄 将士	毎週 水曜 (受付時間13:30~16:00)	
ストーマ外来	担当医	毎月 第3水曜 (午後)	Bブロック
PEG外来	担当医	毎月 第2水曜 (午後)	
セカンドオピニオン外来	各専門医が担当します。詳細はホームページをご覧ください。 予約については地域医療連携室にお尋ねください。		

◎特殊・専門外来については、各診療科にお尋ねください。  
◎急患の場合は、この限りではありません。  
ご注意：学会等の都合で変更になる場合があります。  
◆最新の担当表は、ホームページをご覧ください。

 山鹿市民医療センター  
〒861-0593 熊本県山鹿市山鹿511番地  
TEL 0968-44-2185(代) FAX 0968-44-2420(代)  
FAX 0968-44-0071(連携室直通)  
<http://yamaga-medical-center.jp>